資源管理基礎調査 (ウスメバル)

今村 豊

目 的

青森県資源管理指針の対象魚種の資源動向を調べる資源管理基礎調査として、ウスメバル資源に関する データを整備する。

材料と方法

1. 漁獲統計調查

本県漁協別のウスメバル漁獲量については「青森県海面漁業に関する調査結果書」(県統計)を用いて、 銘柄別の漁獲量については小泊漁協及び尻労漁協の漁協集計表を用いて調べた。さらに尻労漁協及び猿ヶ 森漁協(4隻のうち2隻)については底建網の日別漁獲量を調べた。

2. 魚体測定調査

小泊漁協、三厩漁協及び尻労漁協を対象に、各漁協の盛漁期中(小泊漁協では 6~8 月、三厩漁協では 5~7 月、尻労漁協では 4~6 月)に各銘柄 100 尾を目途に精密測定及び耳石横断面薄片観察による年齢査定を行った。

3. 年齢別漁獲尾数の推定

小泊漁協、三厩漁協及び尻労漁協を対象に、1. 漁獲統計調査と 2. 魚体測定調査の結果を用いて、盛漁期(小泊漁協では $6\sim8$ 月、三厩漁協では $5\sim7$ 月、尻労漁協では $4\sim6$ 月)の年齢別漁獲尾数を推定した。なお、ウスメバルの成長は雌雄でほとんど差がないと考えられていることから $^{1)}$ 、雌雄別の推定は行わなかった。

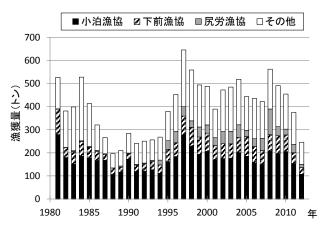
4. 漁場水温調査

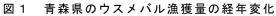
尻労漁協の底建網漁場を対象に、ウスメバルの日別漁獲量と漁場水温との関係を調べるため、底建網のアンカー等に自記式水温計を取り付け、4~6月の期間に1時間毎の水温を観測した。

結果と考察

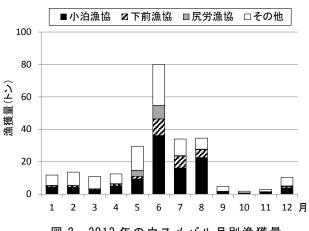
1. 漁獲統計調査

1981年以降における青森県のウスメバル漁獲量は、1980年代に減少し、1995~1997年に増加、2000年代は増減があるものの横ばい傾向で推移し、2012年は245トンで前年比66%、過去5ヵ年比53%に減少した(図1)。近年5ヵ年の漁協別漁獲割合を調べたところ、小泊漁協の割合が最も高く41%、次いで下前漁協14%、尻労漁協10%の順であった。2012年の月別漁獲量を見ると、県全体では5~8月に漁獲量が多く、尻労漁協は5~6月、小泊漁協及び下前漁協は6~8月が盛漁期となっていた(図2)。





-2012年6月 n=46



2012年のウスメバル月別漁獲量

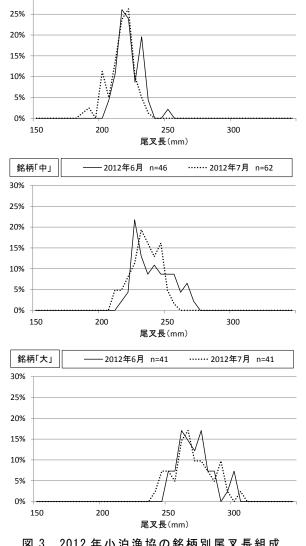
2. 魚体測定調査

銘柄「小」

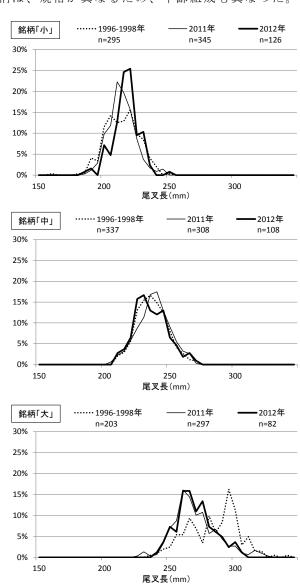
30%

小泊漁協における銘柄別尾叉長組成を調べたところ、月ごとに多少異なり(図3)、年によっても多少異 なることが分かった (図 4)。小泊漁協の銘柄別年齢組成を表 1 に、三厩漁協の銘柄別年齢組成を表 2、尻 労漁協の銘柄別年齢組成を表 3 に示した。3 漁協の銘柄は、規格が異なるため、年齢組成も異なった。

······ 2012年7月 n=80



2012年小泊漁協の銘柄別尾叉長組成 図 3



小泊漁協の銘柄別尾叉長組成の年比較 図 4

表 1 2012 年小泊漁協の銘柄別年齢組成

					(単位	:尾数)						単位:	:百分率
銘柄	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	計	銘柄	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	計
小	21	93	11	1	0	126	小	0.17	0.74	0.09	0.01	0.00	1
中	8	72	23	2	3	108	中	0.07	0.67	0.21	0.02	0.03	1
大	1	3	17	12	49	82	大	0.01	0.04	0.21	0.15	0.60	1

表 2 2012 年三厩漁協の銘柄別年齢組成

					単1	立:尾数_							単位:	百分率
銘柄	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	計		銘柄	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	計
Р	74	33	8	0	0	115		Р	0.64	0.29	0.07	0	0	1
小	17	62	21	3	0	103		小	0.17	0.60	0.20	0.03	0.0	1
中	1	30	16	27	1	75		中	0.01	0.40	0.21	0.36	0.01	1
大	0	2	9	4	16	31	_	大	0	0.06	0.29	0.13	0.52	1

表 3 2012 年尻労漁協の銘柄別年齢組成

					- 4	<u> 1世 </u>
銘柄	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
 Р	126	15	0	0	0	141
小	1	82	11	0	0	94
中	0	31	41	0	0	72
大	0	0	46	1	0	47
特	0	0	9	8	1	18

					単位: 1	<u>百分率</u>
銘柄	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計
Р	0.89	0.11	0	0	0	1
小	0.01	0.87	0.12	0	0	1
中	0	0.43	0.57	0	0	1
大	0	0	0.98	0.02	0	1
特	0	0	0.50	0.44	0.06	1

3. 年齢別漁獲尾数の推定

小泊漁協、三厩漁協及び尻労漁協の盛漁期における年齢別漁獲尾数の推定値を表 4~6 に示した。なお、小泊漁協の銘柄「P」及び尻労漁協の銘柄「小小」については、サンプルを確保できなかったことから 2011年の値を使用し年齢別漁獲尾数を推定した。三厩漁協の銘柄「2 P」、「3 P」についても同様にサンプルの確保が出来なかったことから、平均重量については銘柄の入れ尾数から推定し漁獲尾数を算出し、年齢別漁獲尾数の算出には銘柄「P」の銘柄別年齢組成を使用し推定した。小泊漁協及び三厩漁協では 4 歳が最も多く、3~7歳以上まで漁獲されていた。尻労漁協では 3~4歳魚が多く、2~6歳まで漁獲されていた。小泊漁協及び三厩漁協では高齢魚が多いのに対し、尻労漁協は若齢魚が多かった。尻労漁協で漁獲の多くを占める底建網は特定のサイズを選択的に漁獲することが難しく、2012年は 3~4歳魚の若齢魚が中心に来遊して来たために、小泊漁協よりも若齢が多くなったと思われた。今後も同様の調査を行い、年齢構成をモニタリングし、尻労沖への来遊特性を明らかにしていく必要がある。また、資源量推定に必要な年齢別漁獲尾数のデータを蓄積し、資源動向を解析していく必要がある。

表 4 2012 年 6~8 月の小泊漁協の年齢別漁獲尾数

銘柄	漁獲量	平均体重	漁獲尾数		年	齢別漁獲尾数	Į.	
	(kg)	(g)	•	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
Р	559	146	3,833	3,577	256	0	0	0
小	7,020	207	33,873	5,645	25,001	2,957	269	0
中	53,584	265	201,874	14,954	134,582	42,992	3,738	5,608
大	13,566	385	35,238	430	1,289	7,305	5,157	21,057
計	74,729		274,817	24,606	161,128	53,254	9,164	26,664

表 5 2012 年 5~7月の三厩漁協の年齢別漁獲尾数

銘柄	漁獲量	平均体重	漁獲尾数		年齢	別漁獲尾数		
	(kg)	(g)		3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
3P	34	91	378	243	109	26	0	0
2P	133	107	1,239	798	356	86	0	0
Р	241	140	1,726	1,110	495	120	0	0
小	1,099	190	5,798	957	3,490	1,182	169	0
中	1,346	246	5,470	73	2,188	1,167	1,969	73
大	467	366	1,274	0	82	370	164	658
計	3,320		15,885	3,181	6,719	2,951	2,302	731

表 6 2012 年 4~6 月の尻労漁協の年齢別漁獲尾数

<u></u> 銘柄	漁獲量	平均体重	漁獲尾数_		年歯	^令 別漁獲尾数		
	(kg)	(g)	_	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
Р	1,203	85	14,115	12,614	1,502	0	0	0
小小	209	129	1,616	32	1,584	0	0	0
小	3,771	168	22,472	239	19,604	2,630	0	0
中	3,688	217	17,013	0	7,325	9,688	0	0
大	2,626	275	9,565	0	0	9,361	204	0
特	137	357	385	0	0	192	171	21
計	11,634	_	65,166	12,885	30,015	21,871	374	21

4. 漁場水温調査

尻労漁協及び猿ヶ森漁協(4 隻のうち 2 隻)の底建網による日別漁獲量と、底建網が設置されている底層の日平均水温を図 5 に示した。2012 年の底建網によるウスメバルの盛漁期(1 日に約 1 トン以上漁獲された期間とする)は、5 月 31 日から 6 月 15 日までであり、前年(5 月 15 日~6 月 8 日)よりも 16 日遅かった。水温は、4 月は 8℃前後で推移し、5 月 1 日から昇温し始め、6 月下旬は 11~13℃台であった。また、盛漁期の水温は 10.8~11.9℃で、前年(9.3~10.4℃)よりも漁期の水温が若干高めであった。

2008 年から同様の調査が行われていることから、盛漁期とその水温を表 7 に取りまとめた。盛漁期は、始まりが 5月 15日~5月 31日、終わりが 6月 8日~6月 29日の範囲で、期間が 16~39日間であった。盛漁期の水温は、始まりが 9.3~10.8℃、終わりが 10.4~13.1℃であった。また、2012 年の 4~6 月の日平均水温と日別漁獲量との散布図(図 6)をみると、1 日に約 1 トン以上漁獲された期間の水温は、盛漁期の水温範囲の 9.3~13.1℃の範囲内であった。本県日本海におけるウスメバル主漁場の水温は 9~16℃と報告 2)されているが、本県太平洋北部におけるウスメバルの盛漁期水温は、それよりも範囲が狭かった。

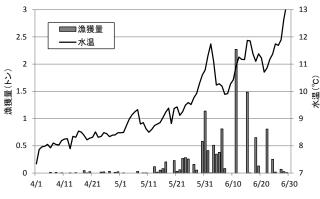


図 5 2012年の日別漁獲量と日平均水温の推移

表 7 盛漁期の期間と漁場底層水温

	盛漁期	水温
2008年	5月22日~6月29日	9.4 ~ 13.1°C
2009年	5月20日~6月10日	10.2~11.6°C
2010年	5月28日~6月21日	9.4~12.2°C
2011年	5月15日~6月8日	9.3~10.4°C
2012年	5月31日~6月15日	10.8 ∼ 11.9°C

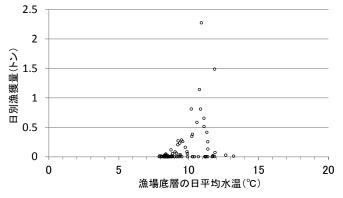


図 6 2012年の日平均水温と日別漁獲量との関係

文 献

- 1) 菊谷尚久 (2001) 異なる逆算方法により求められたウスメバル成長式の比較. 青森県水産試験場研究報告, 1, 9-15.
- 2) 菊谷尚久 (2002) 小泊沿岸域におけるウスメバル未成魚の分布について. 青森県水産試験場研究報告, 2, 11-16.